



石東中だより

合い言葉：石東中は未来の私の出発点

令和7年7月18日
発行者：練馬区立石神井東中学校
校長 市川 昌彦

碎啄同機

先月7日、本校の第76回運動会を五月晴れの下、実施することができました。多くの保護者の皆様、ご来賓・地域の皆様にもご来校いただきましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

運動会当日は、各クラスの実行委員を中心にそれぞれのクラスが競技や応援に一丸となって取り組みました。係生徒も事前の準備から積極的に自分たちの役割を果たし、今年も生徒たちの力で素晴らしい運動会を作り上げてくれました。そのひたむきに取り組む姿と笑顔に、改めて学校生活における行事の大切さを実感する一日となりました。

さて、令和7年度がスタートしてから早くも今日で一学期が終了します。多感な中学生の時期、特に小学生から中学生となった1年生の変容はどうでしょうか。

禅語に「^{そつたくどうき}碎啄同機」という言葉があります。鳥の卵がふ化する時、卵の中の雛が親鳥から教わることがなくても「もうすぐ生まれるよ」と卵の殻を内側からくちばして突いて合図します。これを「碎(そつ)」といい、それに気付いた親鳥が「ここから出てきなさい」と外側から突いて殻が割れるのを助けることを「啄(たく)」といいます。この時、もし親鳥が雛の準備が整う前の早い時期に卵の殻を突いて割ってしまったら、その後の雛の成長はどうなるでしょう。反対に、雛の碎の合図を見逃し親鳥がいつまでも啄を怠れば、自分の力で殻を割れずにいる雛はそのまま殻の中で力尽きてしまうかもしれません。「碎啄同機」とは、機が熟したことを察知し、機を逃さない親と子の絶妙なタイミングを表しています。

中学生期は、体の成長とともに心も大きく成長する時期です。そして、社会性が発達するにつれて他人に頼らず自分で物事を判断し、行動しようとする自立心が強まる時期でもあります。

中学生になった子供に「もう中学生だから…」とある時は大人扱いし、ある時は「まだ中学生だから…」と子供扱いをする。よくある話だと思います。でも、子供から大人への成長過程にある子供たちはその矛盾に大いに混乱します。こうした時期の子供たちをどう導いていったらいいか大変悩ましいところです。よく放任主義とか過干渉・過保護という言葉を目にしますが、放任主義とは、親と子供が信頼し合う状況の中、親は子供自身に物事を考えさせ、自由に選択させながら見守ることを言いますが、それをはき違えて、単に子供をほったらかしているのは、放任ではなく放置です。また、子供が自分の力で判断し自立しようとしているのに、親が心配のあまりあれやこれやと手をかけ過ぎ、口うるさくしてしまうことありがちですが、親が子供にどこでどのようなきっかけを与えるか、そのタイミングを見誤らず絶妙に機を逃さない導きこそ、人間親子の「碎啄同機」といえるでしょう。

明日から長い夏休みに入ります。夏季休業中は親子が一緒に過ごす時間も増えることと思います。そうした時間を子供の自立と成長を見守る絶好の機会にさせていただき、休み明けの二学期には生徒たちのひと回り成長した様子が見られることを願っています。

【熱中症対策】…7月14日から実施しています

- ①登下校中の日傘、帽子を推奨（通年）※狭い歩道での日傘の使用は、人との接触に気を付ける。
 - ②授業中、全ての教科で個人の判断で水筒からの水分補給が可能。（通年）
 - ③アイスタオル等は個人の判断で使用できる。登下校中、授業中、休み時間。（通年）
- ※熱中症対策として持参するものは、一人一人が責任をもって管理すること。

お問い合わせ先電話番号 03-3996-2157

※ホームページ：<http://www.shakujii-e-j.nerima-tyky.ed.jp/>



主な行事の紹介

●石東中いじめ問題サミット〈6月30日(月)〉

生徒会役員や学級委員、生活委員が、「いじめの原因とは何か、いじめが起こらないように私達にできること」をテーマに、石神井東中学校をよりよくするための協議会を実施しました。今後も全校一丸となって、いじめがなく安心して過ごせる中学校を作っていきます。



●避難訓練〈7月1日(火)〉

今回は光が丘消防署のご協力のもと、火災を想定した避難訓練を行いました。雨天のため、避難先は体育館になりました。今回は消防士の方から、消火器の使い方を学び、代表生徒が実践しました。いざというときは、落ち着いて避難できるよう、そして消火器を正しく使えるよう、命を守る適切な行動ができるようにしていきます。



●交通安全教室（スケアードストレート）〈7月7日(月)〉

光が丘警察署の方々をお招きし、全校に向けて交通安全への意識向上のための交通安全教室を行いました。今回はスケアードストレート方式による、スタントマンの事故の再現を交えながら、危険な自転車の乗り方や不注意などがどのような事態を招いてしまうかを視覚的に体験しました。夏休みでは交通ルールを守って生活していきましょう。



●いのちの講演会〈7月12日(土)〉

太平洋戦争中の日本では、一体どのような生活を送っていたのか、そして原子爆弾の投下による被ばくがどれほどのものだったのか、被ばく体験伝承者の稲塚 秀孝さんを講師としてお招きし、当時の友人であった山口 彊さんの体験を語っていただきました。日頃の平和な日常に感謝し、いのちを大切に、生活していきましょう。



部活動の記録

●男子バスケットボール部

[夏季総合体育大会]

1回戦 対 練馬東中 ○102-31
2回戦 対 北町中 ○107-33
3回戦 対 中村中 ○53-42
準決勝 対 石神井南中 ○65-42
決勝 対 石神井西中 ●47-92

★準優勝 都大会出場



●演劇部

[劇団サム 第11回公演]

7/27(日) 「赤羽君が走ったワケ」 作：田中 あり子
8/2 (土) 「となりのエーミール」 作：山崎 伊知郎
主宰：田代 卓

・練馬区立生涯学習センターにて公演



今後の主な行事

20(日)	海外派遣出発	18(月)	学校休務日終	17(水)	入学予定者学校説明会
21(祝)	海の日	29(金)	夏季休業日終	18(木)	食育の日 貧血検査(1年)
22(火)	夏季休業始		職員会議 学年会議		選挙リハーサル
	三者面談始	9/1(月)	始業式 安全指導	19(金)	生徒会役員選挙
25(金)	イングリッシュ		避難訓練	22(月)	生徒朝礼
	キャンプ始(1年)	8(月)	全校朝礼	23(祝)	秋分の日 連合陸上大会
27(日)	イングリッシュ	11(木)	修学旅行始(3年)	24(水)	職員会議
	キャンプ終(1年)		職場体験始(2年)	26(金)	専門委員会
	海外派遣帰着	12(金)	職場体験終(2年)	30(火)	水泳指導終
31(木)	三者面談終		給食試食会	10/1(水)	定期考査1日目 都民の日
8/11(祝)	山の日	13(土)	修学旅行終(3年)	2(木)	定期考査2日目 学年会議
12(火)	学校休務日始		学校公開		
			区・一斉防災訓練		